

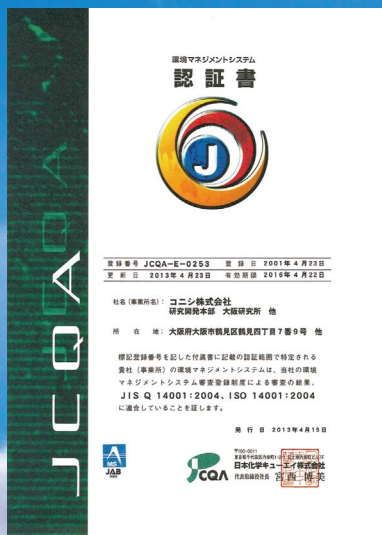
BOND[®] シーリング材 **SEALANT**

環境社会の実現へ向けて、 化学を通じたアプローチを

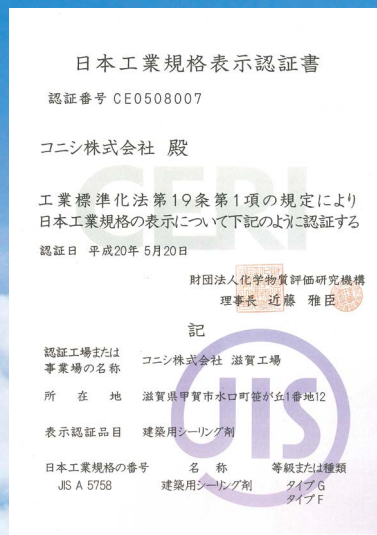
私たちコニシ株式会社は、1952年に日本で初めて合成接着剤「ボンド」を開発して以来、ポリマーテクノロジーの先端を歩みながら、1963年にはポリサルファイド系シーリング材の開発によって目地防水の分野においても確固たる地位を築いてきました。そして、時代の流れに沿った建築工法や部材の変化に対応しながら、多様化するニーズに耳を傾け、高品質の接着剤、シーリング材などを提供してきました。近年、化学製品の安全性に対する要求の高まりの中、地球規模での環境負荷の低減が急務となっています。当社でも、土木構造物や高層ビルをはじめとする建築技術の高度化を側面から支えつつ、環境・安全を第一に考えた事業活動に注力しています。



重ねています。



ISO認定書 (ISO 14001:2004)



JIS認定書



INDEX

ボンド シーリング材の主要施工実績	3
ボンド シーリング材の種類	9
ボンド シーリング材の性状・性能	11
ボンド シールプライマーの種類・性状	13
ボンド シールプライマー選定の目安	15
ボンド シーリング材の被塗装性	17
ボンド シーリング材の適材適所	19
防耐火構造用シーリング材	21
非塗装汚染型シーリング材	22
土木用シーリング材	23
超耐候シーリング材	24
ボンド シーリング材の施工手順	25
ボンド シーリング材の施工m数	26
注意事項	26

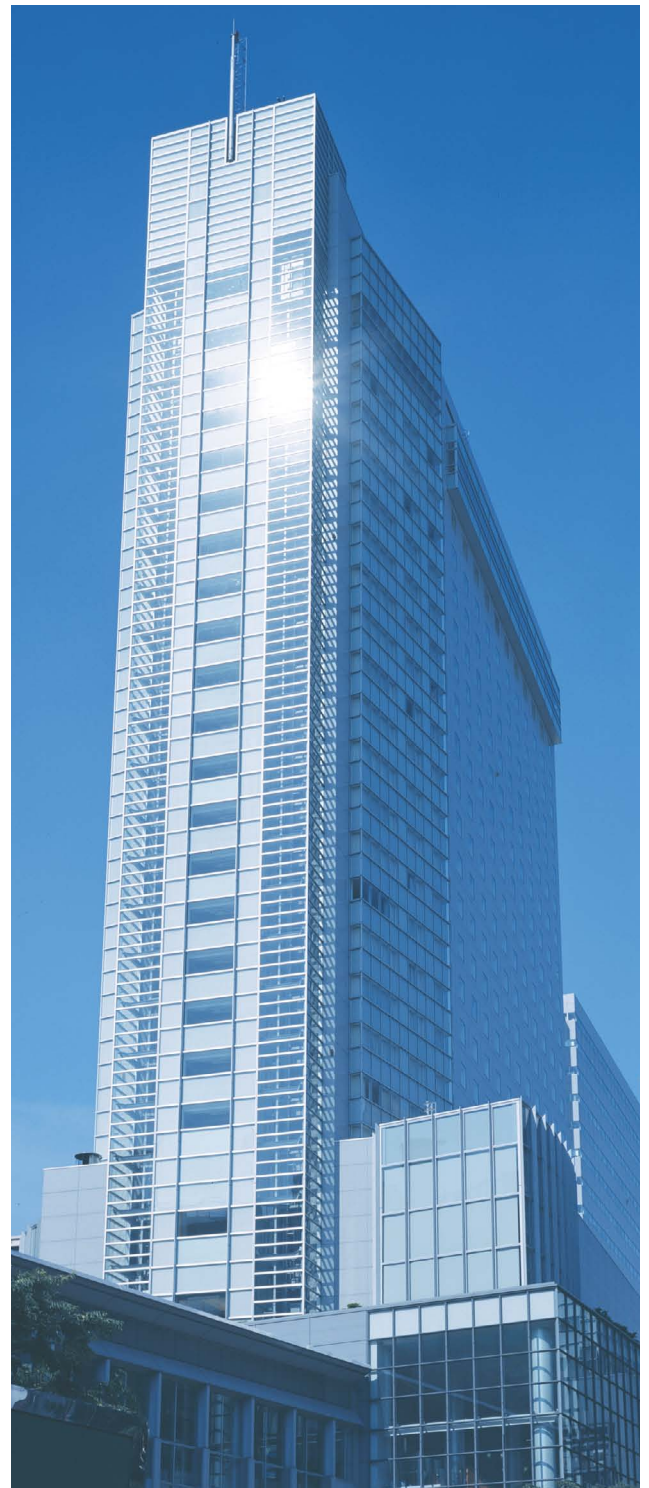
ボンドシーリング材の主要施工実績



セルリアンタワー (PSシール・MSシール)



日本都市センター (FRシール)



渋谷マークシティ (PSシール・FRシール)



クロスタワー大阪ベイ
(PSシール・MSシール・ビューシール6909)



OAP Towers 帝国ホテル棟 (MSシール)



晴海トリトンスクエア (PSシール・MSシール)

ボンドシーリング材の主要施工実績



愛宕グリーンヒルズ (PSシール)



札幌ドーム (FRシール)



クィーンズスクエア横浜 (FRシール)

オリックス赤坂2丁目ビル
(MSシール・エクシールIB・ビューシール6909・PSシール)



シティゲートタワー千里中央 (MSシール・ビューシール6909)



NHK大阪新放送会館、大阪市立博物館、考古資料センター
(MSシール・FRシール・耐火目地用シーラント120)



ボンドシーリング材の主要施工実績



トルナーレ日本橋浜町 (PSシール・MSシール・エクシールIB)



中之島センタービル (改修・AUシール)



シティタワー堀江 (MSシール・ビューシール6909)



ナディアパーク(改修・MSシール)



竹橋スクエア(PSシール・MSシール)

〈ボンド シーリング材主要施工実績の写真提供〉

●セルリアンタワー〔東急電鉄(株)、東急建設(株)〕●渋谷マークシティ〔(株)そあスタジオ〕●札幌ドーム〔(株)札幌ドーム〕●晴海トリトンスクエア〔(株)マサル〕●愛宕グリーンヒルズ〔森ビル(株)、日経BP社「日経アーキテクチュア」2001年4月30日号54ページから転載〕●オリックス赤坂2丁目ビル〔オリックスリアルエステート(株)〕●クイーンズスクエア横浜〔大成建設(株)〕●NHK大阪新放送会館、大阪市立博物館、考古資料センター〔(株)甲陽園カメラ 生田将人氏、日経BP社「日経アーキテクチュア」2001年1月8日号30ページから転載〕●トルナーレ日本橋浜町〔(株)小林研二写真事務所〕●シティタワー堀江〔(株)エスエス大阪〕●ナディアパーク〔日本管財(株)〕●竹橋スクエア〔安田不動産(株)〕

ボンドシーリング材の種類

2成分形

材種	シリコン系〈反応硬化型〉		変成シリコン系〈反応硬化型〉	
商品名	ボンドビルドシールSR ①⑤		ボンドMSシール ①⑤	
				
	JSIA F★★★★		JSIA F★★★★	
	低モジュラス 耐久・耐候・動的追従性良好 クラスF-25LM-G-25LM(耐久性10030)		低モジュラス 動的追従性良好 クラスF-25LM(耐久性9030)	
	金属パネルおよび各種ガラスまわり目地 防火戸用指定シーリング材(日本シーリング 材工業会指定)		金属およびPCaカーテンウォールの各種目地 RC造各種目地、各種パネル・ボード目地、 窓枠まわり(ガラスまわりは適さない)	
用途	4Lセット缶×2/ケース、カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
	ビルドシールSR用カラーマスターをご利用ください (0.27L×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、 ステンカラー、ニューアンバー、ニューブロンズ、 ブラック、コンクリートグレー		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、 ステンカラー、ニューアンバー、ニューブロンズ、ブラック、 コンクリートグレー	
容量 梱包	4Lセット缶×2/ケース、カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
色調	ビルドシールSR用カラーマスターをご利用ください (0.27L×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、 ステンカラー、ニューアンバー、ニューブロンズ、 ブラック、コンクリートグレー		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、 ステンカラー、ニューアンバー、ニューブロンズ、ブラック、 コンクリートグレー	
	ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース)		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース)	
材種	ポリサルファイド系〈反応硬化型〉		アクリルウレタン系〈反応硬化型〉	
商品名	ボンドPSシール ①⑤		ボンドAUシール ①⑤	
				
	JSIA F★★★★		JSIA F★★★★	
	低モジュラス 耐久・耐候性良好 クラスF-20LM-G-25LM(耐久性9030)		低モジュラス 被塗装性良好 クラスF-25LM(耐久性9030)	
	石・タイル目地、窓枠まわり、RC造各種目地、 プレキャストコンクリート板の各種目地、 各種パネル・ボード目地、ガラスまわり		PCaカーテンウォールの各種塗装目地、RC造 各種塗装目地、各種パネル・ボード塗装目地、 窓枠まわり(ガラスまわりは適さない)	
用途	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
容量 梱包	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
色調	ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、 ステンカラー、ニューアンバー、ニューブロンズ、ブラック、 コンクリートグレー		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、 ステンカラー、ニューアンバー、ニューブロンズ、ブラック、 コンクリートグレー	
	ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース)		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース)	
材種	変成シリコン系〈反応硬化型〉		ポリウレタン系〈反応硬化型〉	
商品名	ボンドサイディングシール ①⑤		ボンドFRシール ①⑤	
				
	JSIA F★★★★		JSIA F★★★★	
	低モジュラス 応力緩和タイプ クラスF-12.5E(耐久性8020)		低モジュラス 耐火構造用 クラスF-25LM(耐久性9030)	
	サイディング目地、ハウジング各種部 材目地(ガラスまわりは適さない)		防火区画の各種目地、耐火間 仕切り・耐震スリット各種目地 (ガラスまわりは適さない)	
用途	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
	サイディングシールは、サイディング シール用カラーマスターをご利用ください。 160g×6個×4箱/ケース サイディング色調検索システム http://color.bond.co.jp/search.php		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、 ニューアイボリー、ステンカラー、ニューアンバー、 ニューブロンズ、ブラック、コンクリートグレー	
容量 梱包	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
	4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包		4Lセット缶×2/ケース カラーマスターは別梱包	
色調	サイディング色調検索システム http://color.bond.co.jp/search.php		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、 ニューアイボリー、ステンカラー、ニューアンバー、 ニューブロンズ、ブラック、コンクリートグレー	
	サイディング色調検索システム http://color.bond.co.jp/search.php		ボンドシールカラーマスター (160g×20個/ケース) ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグレー、 ニューアイボリー、ステンカラー、ニューアンバー、 ニューブロンズ、ブラック、コンクリートグレー	
材種	変成シリコン系〈反応硬化型〉		ポリウレタン系〈反応硬化型〉	
商品名	ボンドUPシール グレー		ボンドUPシール#700 グレー	
				
	JSIA F★★★★		JSIA F★★★★	
	中モジュラス		高モジュラス 土木・高耐水圧用	
	各種土木目地、 各種コンクリート打継ぎ誘発目地 水路(L、U型ブロック)		埋設用土木目地、 各種コンクリート打継ぎ誘発目地 地下埋設ボックスカルバート、 ヒューム管目地、防火貯水槽用	
用途	8kgセット缶×2/ケース		8kgセット缶×2/ケース	
	8kgセット缶×2/ケース		8kgセット缶×2/ケース	
容量 梱包	8kgセット缶×2/ケース		8kgセット缶×2/ケース	
	8kgセット缶×2/ケース		8kgセット缶×2/ケース	
色調	グレーのみ		グレーのみ	
	グレーのみ		グレーのみ	

1 成分形

材 種	シリコン系〈湿気硬化型〉	テレケリックポリアクリレート系〈湿気硬化型〉	変成シリコン系〈湿気硬化型〉
商品名	ボンドシリコンコーク[®] JIS	ボンドTAG-1[®] コーク	ボンドMSコーク
性能特長	高モジュラス 耐久・耐候性良好 クラスG-20LM・G-30SLM(耐久性9030G)	高モジュラス 耐久・耐候性良好 クラスG-30SHM(耐久性9030G)相当	高モジュラス 一般型
用途	ガラスまわり、内装各種目地、水まわり目地 (防カビ剤入り)	ガラスまわり、光触媒ガラスまわり、 ハウジング各種目地	ハウジング各種部材目地、RC造各種目地、 内装各種目地(ガラスまわりは適さない)
容量 梱包	330mlカートリッジ(10本×2/ケース)	333mlカートリッジ(10本×2/ケース)	333mlカートリッジ(10本×2/ケース)
色 調	クリアー [*] 、ホワイト [*] 、アイボリー [*] 、ダークアイ ボリー [*] 、アンバー、ダークブラウン、ニューブ ルー、ライトグレー [*] 、グレー、アルミ、ダークア ルミ(銀黒)、ブラック ※防カビ剤入りもあります。	ライトグレー、ブラック	ホワイト、ライトグレー、グレー、ダークグ レー、ニューアイボリー、ステンカラー、 ニューアンバー、ニューブロンズ、ブラック、 コンクリートグレー
材 種	変成シリコン系〈湿気硬化型〉	変成シリコン系〈湿気硬化型〉	アクリルウレタン系〈湿気硬化型〉
商品名	SRシール S70[®] JIS	ボンド耐火目地用シーラント120	ボンドAUクイック[®]
性能特長	低モジュラス 動的追従性良好 クラスF-12.5E(耐久性8020)	2時間耐火タイプ 中モジュラス 耐火構造用	ノンブリードタイプ 高モジュラス 被塗装性良好 速硬化 クラスF-12.5E(耐久性8020)相当
用途	サイディング目地、ハウジング各種部材目地 (ガラスまわりは適さない) ※被塗装目地には「SRシール NB50」をご使用ください。	防火区画の各種目地、耐火間仕切り 各種目地(ガラスまわりは適さない)	コンクリート・モルタルの各種塗装目地、 各種土木目地、塗膜防水の下地処理
容量 梱包	333mlカートリッジ (10本×2/ケース、プライマー入り) 6L缶(プライマー・ハケ入り)	333mlカートリッジ(10本×2/ケース)	333mlカートリッジ(10本×2/ケース)
色 調	サイディング用各色 対応色350色以上 ※「NB50」は、シロ、アイボリー、ライトグレー、Dブラウン	ホワイト、グレー	ホワイト、グレー、アイボリー
材 種	ポリウレタン系〈湿気硬化型〉	ポリウレタン系〈湿気硬化型〉	アクリル系〈乾燥硬化型〉
商品名	ボンドウレタンコーク[®] JIS	ボンドUP-1 シール	ボンドアクリルコーク[®] JIS
性能特長	ノンブリードタイプ 低モジュラス クラスF-12.5E(耐久性9030)	低モジュラス 土木用	水性アクリルエマルション系 クラスF-12.5E(耐久性7020)
用途	コンクリート・モルタルの各種塗装目地	各種土木目地 地下埋設ボックスカルバート、 ヒューム管目地	ALC目地、内装ボード目地、 非露出目地
容量 梱包	320mlカートリッジ(10本×2/ケース)	850mlカートリッジ(12本/ケース)	17L缶
色 調	ホワイト、アイボリー、アンバー、ライトグレー、 グレー、ブラック	グレー	白

ボンドシーリング材の性状・性能

ボンド シーリング材		シリコン系		変成シリコン系															
		ビルドシール SR		FRシール		MSシール		MSシールⅡ			MSシールⅢ				サイディング シール				
項目																			
外 観	基剤	ペースト状		ペースト状		ペースト状		ペースト状			ペースト状				ペースト状				
	硬化剤	液状		ペースト状		ペースト状		ペースト状			ペースト状				ペースト状				
	カラーマスター	ペースト状		ペースト状		ペースト状		ペースト状			ペースト状				ペースト状				
混合比(質量)基剤:硬化剤:カラーマスター		93:3:7		100:10:3		100:8:3.6		100:8:3.8			100:8:3.8				100:10:3				
JSIA F★★★★認定番号		003071		003022		003023		003076			003076				003028				
JISA 5758	クラス	㊦ F-25LM・G-25LM (SR-2-10030)		㊦ F-25LM (MS-2-9030)		㊦ F-25LM (MS-2-9030)		㊦ F-25LM (MS-2-9030)			㊦ F-25LM (MS-2-9030)				F-12.5E (MS-2-8020)				
	スランプ (50℃、mm)	縦	0		0		0		0			0				0			
		横	0		0		0		0			0				0			
	弾性復元率(%)	91		97		93		94			94				43				
	引張応力 (N/mm)	23℃	0.2		0.3		0.2		0.2			0.2				—			
		-20℃	0.2		0.3		0.2		0.2			0.2				—			
	体積損失(%)	1.5		2.1		2.3		3.3			3.3				2.0				
耐久性	10030		9030		9030		9030			9030				8020					
JISA 1439	可使時間 (時間)	製造月	—		11~2	3.4.9.10	5~8	11~2	3.4.9.10	5~8	11~2	3.4.9.10	5~8	11~2	3.4.9.10	5~8			
		5℃	10		4	—	—	4	—	—	4	—	—	4	—	—			
		23℃	3		2	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4			
		35℃	1.5		—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2			
	タックフリー (時間)	5℃	36以内		48以内	—	—	48以内	—	—	48以内	—	—	48以内	—	—			
		23℃	10以内		24以内	24以内	36以内	24以内	24以内	36以内	24以内	24以内	36以内	24以内	24以内	36以内			
		35℃	5以内		—	—	24以内	—	—	24以内	—	—	24以内	—	—	24以内			
	比重	1.27		1.36		1.20		1.19			1.34								
	押出し性(5℃、秒)	5		4		3		3			4								
	引張接着性	被着体	応力・伸び 条件(23℃)	50% 引張応力 (N/mm)	最大 引張応力 (N/mm)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm)	最大 引張応力 (N/mm)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm)	最大 引張応力 (N/mm)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm)	最大 引張応力 (N/mm)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm)	最大 引張応力 (N/mm)	最大荷重 時の伸び (%)	
アルミニウム板			養生後	0.13	0.58	1110	0.12	0.43	545	0.12	0.42	603	0.10	0.34	808	0.13	0.49	447	
加熱後		0.15	0.55	1060	0.14	0.55	588	0.15	0.58	606	0.18	0.50	612	0.15	0.76	519			
水浸せき後		0.12	0.57	1130	0.14	0.44	632	0.13	0.38	596	0.10	0.33	715	0.11	0.47	498			
モルタル板		養生後	0.15	0.57	1140	0.11	0.45	592	0.12	0.37	543	0.10	0.36	728	0.11*	0.31*	321*		
		加熱後	0.16	0.43	868	0.14	0.57	559	0.14	0.52	578	0.19	0.54	536	0.19*	0.67*	462*		
		水浸せき後	0.14	0.54	1170	0.13	0.39	548	0.12	0.32	571	0.11	0.31	638	0.08*	0.21*	303*		
ガラス板		養生後	0.13	0.60	1130	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		加熱後	0.15	0.58	1060	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		水浸せき後	0.12	0.59	1140	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	促進暴露後	0.13	0.56	1070	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
有効期限(製造後)		6ヶ月		6ヶ月		6ヶ月			6ヶ月				6ヶ月						

※サイディングシールの被着体(モルタル板)は窯業系サイディングを使用。

ポリサルファイド系			アクリルウレタン系			ポリウレタン系								
PSシール			AUシール			ビュシール 6909			UPシール グレー			UPシール #700 グレー		
														
ペースト状			液状			液状			液状			液状		
液状			ペースト状			ペースト状			ペースト状			ペースト状		
ペースト状			ペースト状			—			—			—		
100:18:3.5			100:300:13			100:450			100:400			100:400		
003024			003025			003026			003055			003027		
㊦F-20LM (PS-2-9030)		㊦G-25LM (PS-2-9030)	㊦F-25LM (UA-2-9030)			㊦F-25LM (PU-2-8020)			—			—		
0		0	0			0			0			0		
0		0	0			0			0			0		
76		75	93			84			95			95		
0.1		0.1	0.2			0.1			0.3			0.4		
0.2		0.2	0.2			0.1			0.4			0.5		
7.2		7.2	4.4			5.7			2.4			0.2		
9030			9030			8020			—			—		
11~2	3.4.9.10	5~8	11~2	3.4.9.10	5~8	12~2	3.4.9.10	5~8	10~3	4~9		10~3	4~9	
4	—	—	4	—	—	4	—	—	3	—		3	—	
2	3	4	2	3	4	2	3	4	1.5	3		1.5	3	
—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	1		—	1	
18以内	—	—	48以内	—	—	24以内	—	—	24以内	—		24以内	—	
18以内	18以内	24以内	24以内	24以内	36以内	24以内	24以内	24以内	12以内	18以内		12以内	18以内	
—	—	18以内	—	—	24以内	—	—	24以内	—	8以内		—	8以内	
1.34			1.27			1.09			1.41			1.41		
5			5			2			1.9			2.1		
50% 引張応力 (N/mm ²)	最大 引張応力 (N/mm ²)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm ²)	最大 引張応力 (N/mm ²)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm ²)	最大 引張応力 (N/mm ²)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm ²)	最大 引張応力 (N/mm ²)	最大荷重 時の伸び (%)	50% 引張応力 (N/mm ²)	最大 引張応力 (N/mm ²)	最大荷重 時の伸び (%)
0.11	0.31	630	0.17	0.58	430	0.17	0.36	464	—	—	—	—	—	—
0.09	0.24	500	0.11	0.43	480	0.14	0.35	448	—	—	—	—	—	—
0.10	0.29	800	0.11	0.58	560	0.15	0.35	503	—	—	—	—	—	—
0.12	0.30	600	0.16	0.51	440	0.15	0.37	495	0.33	1.29	720	0.46	2.14	700
0.10	0.27	430	0.11	0.41	470	0.13	0.35	414	0.13	0.9	900	0.29	1.44	780
0.10	0.27	800	0.10	0.50	610	0.12	0.36	601	0.30	1.20	670	0.38	1.37	650
0.12	0.31	630	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
0.10	0.23	390	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
0.10	0.29	830	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
0.11	0.42	460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6ヶ月			6ヶ月			6ヶ月			6ヶ月			6ヶ月		

表中の数値は標準値を示しています。

ボンドシールプライマーの種類・性状

ボンド シールプライマー		汎用型			
		#7	#9	シリコン用C	シリコン用F
項 目					
JSIA F★★★★認定番号		003035	003036	003072	003073
タイプ		1液型	1液型	1液型	1液型
外 観		無色透明液体	淡黄色透明液体	淡黄色透明液体	無色透明液体
組 成	樹 脂	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	シリコーン変性 ウレタン樹脂系	シラン系
	主溶剤	酢酸エチル 酢酸ブチル	酢酸エチル	酢酸ブチル、キシレン	トルエン
比 重[23℃]		0.98±0.05	0.99±0.05	1.00±0.02	0.90±0.05
粘 度(mPa・S)[23℃]		50以下	50以下	100以下	100以下
不揮発分(%)		34±3	31±3	40±5	9±2
シーリング材の 充填可能時間[23℃]		乾燥後から8時間	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間
有効期間 (冷暗所貯蔵)		6ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	9ヶ月
包装・容量		500g缶入 (12缶／ケース)	500g缶入 (12缶／ケース)	300ml缶入 (20缶／ケース)	300ml缶入 (20缶／ケース)
主用途		汎用	汎用	コンクリート、石、 モルタル等の多孔質用	ガラス、各種金属 塗装鋼板
適用 ボンド シーリング材		AUシール ビューシール6909 シリコンコーク MSコーク ウレタンコーク AUクイック 耐火目地用シーラント120 UP-1シール	FRシール MSシール MSシールNB PSシール AUシール ビューシール6909 UPシール グレー UPシール#700 グレー 耐火目地用シーラント120 AUクイック アクリルコークL MSコーク UP-1シール ウレタンコーク	ビルドシールSR	ビルドシールSR
備 考		無黄変型 第四類第一石油類	直射日光により黄変し ますのでプライマーの はみ出しに注意。 第四類第一石油類	第四類第二石油類	無黄変型 第四類第一石油類

※シーリング材が中長期にわたって、被着体と良好な接着性を確保するには、プライマーの使用が必要ですが、被着体の表面処理や
 ※施工条件や被着材の表面状態により接着性が異なることがありますので、プライマーの選定はP15・16の「ボンド シールプライマー」
 ※乾燥時間の目安は、5℃→60分、23℃→30分、35℃→15分となります。
 ※開封後の処理(不使用時密栓)…当日内に使い切るようにしてください。

特殊型					
	#1	#2	#3	#5	ACプライマー
					
	003031	003032	003033	003034	—
	1液型	1液型	1液型	1液型	1液型
	淡黄色透明液体	無色透明液体	無色透明液体	褐色透明液体	淡黄色液体
	ウレタン樹脂系	ウレタン樹脂系	シラン系	ウレタン樹脂系	アクリル樹脂系
	酢酸エチル	酢酸エチル 酢酸ブチル	ノルマルヘキサン	トルエン	水
	0.99±0.05	0.98±0.05	0.69±0.03	1.03±0.05	1.00±0.05
	50以下	50以下	6以下	50以下	50以下
	31±3	34±3	4.8±1.5	50±5	15.5±1.5
	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間	乾燥後から8時間
	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	12ヶ月
	1kg缶入 (12缶／ケース)	500g缶入 (12缶／ケース)	300g缶入 (12缶／ケース)	500g缶入 (12缶／ケース)	5kgポリ容器入 (4個／ケース)
	土木用コンクリート・ モルタル用	窯業系サイディング用	ガラスまわり用	油性打替え用	ALC コンクリート・ モルタル用
	UPシール グレー UPシール#700 グレー UP-1シール AUクイック ウレタンコーク	サイディングシール	PSシール シリコンコーク	MSシール MSシールNB PSシール AUシール ビューシール6909	アクリルコークL
	直射日光により黄変し ますのでプライマーの はみ出しに注意。 第四類第一石油類	無黄変型 第四類第一石油類	無黄変型 第四類第一石油類	直射日光により黄変し ますのでプライマーの はみ出しに注意。油性 打替えでは、等量のポ ルトランドセメントを混 入してご使用ください。 第四類第一石油類	凍結厳禁

塗装状態によって接着不良や接着のバラツキが生じることがあるので、事前検討が必要です。
選定の目安」の欄をご参照ください。

ボンドシールプライマー選定の目安

下地	被着体		2成分形							
			シリコン系	変成シリコン系		ポリサルファイド系	アクリルウレタン系	ポリウレタン系		
	種 別	名 称	ビルドシールSR	FRシール MSシール MSシールⅡⅢ	サイディング シール	PSシール	AUシール	ビュシール 6909	UPシール グレー UPシールⅡ700 グレー	
アルミニウム	塗装	常温乾燥型	アクリル系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
		常温反応型	アクリル系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
			ウレタン系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
			フッ素樹脂系	※	※	※	※	※	※	—
		熱硬化型	アクリル系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
			アクリルウレタンクリアー	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
			フッ素樹脂系	※	※	※	※	※	※	—
	処理	銀白アルマイト	硫酸アルマイト処理	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
		カラーアルミ	自然発色	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
電解着色			シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9	
スチール	塗装	錆止塗料	油性系	—	—	—	—	—	—	—
			ジンクリッチプライマー (エポキシ系)	シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—
		常温乾燥型	アクリル系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	—	—
			塩化ビニル系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	—	—
			塩化ゴム系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	—	—
			グラファイトペイント	シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—
			プレパレン	シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—
		常温反応型	ウレタン系	シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	#9
			フッ素樹脂系	※	※	※	※	※	※	—
	タールエポキシ系		—	—	—	—	—	—	—	
	被覆	ホーロー鋼板	シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
		塩ビ鋼板	シリコン用F	#9	—	—	—	—	—	
		フッ化ビニル被覆鋼板	シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
		瀝青質鋼板	—	—	—	—	—	—	—	
その他の金属	亜鉛メッキ鋼板		シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
	銅(素地・硫化処理)		シリコン用F	#9	—	#9	#7.#9	—	—	
	ステンレス(ヘアーライン・鏡面)		シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	—	—	
コンクリート・石・ガラス	コンクリート・モルタル		シリコン用C	#9	—	#9	#7.#9	#7.#9	#1.#9	
	ALC		シリコン用C	#9	—	#9	#7.#9	#7.#9	—	
	スレート類		シリコン用C	#9	—	#9	#7.#9	#7.#9	#1.#9	
	窯業系サイディング		—	—	#2	—	#7	#7	—	
	御影石		シリコン用C	#9	—	#9	—	—	—	
	大理石		—	—	—	#9	—	—	—	
	タイル		シリコン用F	#9	—	#9	—	#7.#9	—	
	結晶化ガラス		シリコン用F	—	—	#9	—	—	—	
	ガラス		シリコン用F	—	—	#3	—	—	—	
その他	アクリル・ポリカーボネート板		—	—	—	—	—	—	—	
	硬質塩化ビニル		シリコン用F	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	—	
	FRP		シリコン用F	#9	—	#9	—	—	—	
	シリコーンガasket		※	※	—	※	※	—	—	
	CRゴム・EPDMゴム		—	—	—	—	—	—	—	
	木材		シリコン用C	#9	#2	#9	#7.#9	#7.#9	—	
	油性打替え用		—	#5+セメント	—	#5+セメント	#5+セメント	#5+セメント	—	
	弱溶剤系1液型塗料		※	※	※	※	※	※	—	

※被着体とプライマー選定に関して、事前検討をお願いします。

	1成分形						
	シリコン系	テレリックポリアクリレート系	変成シリコン系		アクリルウレタン系	ポリウレタン系	注意事項
	シリコンコーク	TAG-1コーク	MSコーク	耐火目地用 シーラント120	AUキック	ウレタンコーク	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	塗料の養生を充分に行う。塗料に対する溶剤、 可塑剤の影響及び接着性の確認が必要。 プライマーの2度塗りが有効な場合あり。 (塗布間隔30分以上)
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	#3	※	※	※	—	—	事前検討が必要。パフ処理が有効。
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	塗装仕様により接着性が異なるため、事前検討が 望ましい。特に艶消しタイプで注意が必要。
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	#3	※	※	※	—	—	
	np.#3.#7	np.#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	封孔処理の違いにより表面の接着性が異なる ため、事前検討が望ましい。パフ処理が有効。
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	—	—	—	—	—	—	接着不良。塗膜破壊。
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	塗料の養生を充分に行う。塗料に対する溶剤、 可塑剤の影響及び接着性の確認が必要。
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	塗料の養生を充分に行う。塗料に対する溶剤、 可塑剤の影響及び接着性の確認が必要。 プライマーの2度塗りが有効な場合あり。 (塗布間隔30分以上)
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	※	※	※	※	—	—	事前検討が必要。パフ処理が有効。
	—	—	—	—	—	—	接着不良。
	#3.#7	#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	—	—	接着性の確認が必要。
	#3.#7	#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	—	—	
	#3.#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	
	—	—	—	—	—	—	事前検討が必要。パフ処理が有効。
	—	—	—	—	—	—	瀝青質のため接着不良。
	np.#3.#7	np.#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	—	—	下地の錆を除去。
	np.#3.#7	#7	—	#7.#9.#25	—	—	緑青を除去。シーリング材を分解する恐れがあるので プライマーの2度塗りが必要。(塗布間隔30分以上)
	#3.#7	#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	—	—	表面が不活性な為、接着性の確認が必要。 パフ処理が有効。
	#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#1.#7.#9	#7.#9	乾燥状態に注意。
	#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#1.#7.#9	#7.#9	プライマーの吸い込みに注意し、充分に塗布。
	#7	#7	#7.#9	#7.#9.#25	#1.#7.#9	#7.#9	
	—	—	—	#7.#9.#25	—	#7.#9	
	—	#7	#7.#9	#7.#9.#25	—	—	「ボンド シリコンコーク」は外部石材目地には 使用しない。 石材目地は事前検討が必要。
	—	—	—	—	—	—	
	np.#7	np.#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	
	#3	#7	—	—	—	—	事前検討が必要。
	np.#3	np	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	
	np.#7	np.#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	表面の離型剤を除去。
	np.#7	np.#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	—	—	
	※	※	※	※	—	—	
	—	※	※	※	—	—	事前検討が必要。
	np.#7	np.#7	np.#7.#9	#7.#9.#25	#7.#9	#7.#9	プライマーの吸い込みに注意し、充分に塗布。
	—	—	—	—	—	—	「プライマー#5」に対し、普通ポルトランドセメントを 質量で1:1の割合で混合。
	※	※	※	※	※	—	
	※	※	※	※	※	—	塗料の上にシーリング材を施工すると塗膜が 軟化し、シーリング材はく離する場合があります。

—：用途としていません。 np：ノンプライマー

ボンドシーリング材の被塗装性

本データは一応の目安であり、吹付

ボンドシーリング材 付着性・汚染性 呼び名 仕上塗材の種類・通称 ※1				2成分形							
				シリコーン系		変成シリコーン系				ポリサルファイド系	
				ビルドシール SR		MSシール サイディングシール	MSシール NE			PSシール ※3	
				付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染
仕上塗材	合成樹脂エマルジョン系 薄付け仕上塗材(薄塗材E)	樹脂リシン アクリルリシン 陶石リシン	外装薄塗材E	×	—	○	△	○	◎	○	△
		マスチックA	—	×	—	○	△	○	◎	○	△
	可とう形外装合成樹脂エマルジョン系 薄付け仕上塗材	弾性リシン	可とう形 外装薄塗材E	×	—	○	△	○	◎	○	△
	防水形外装合成樹脂エマルジョン系 薄付け仕上塗材	単層弾性	防水形 外装薄塗材E	×	—	○	△	○	◎	○	△
	外装合成樹脂エマルジョン系 厚付け仕上塗材	樹脂スタック・ アクリルスタック	外装厚塗材E	×	—	○	△	○	◎	○	△
	合成樹脂エマルジョン系 複層仕上塗材	アクリルタイル	複層塗材E	×	—	○	△	○	◎	○	△
	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系 複層仕上塗材	水性エポキシタイル	複層塗材RE	×	—	○	◎	○	◎	○	◎
防水形合成樹脂エマルジョン系 複層仕上塗材		ダンセイタイル (複層弾性)	防水形 複層塗材E	×	—	○	△	○	◎	○	△
外壁化粧防水材		アクリルゴム	L-AW	×	—	○	△	○	◎	○	△
水性系塗料	合成樹脂エマルジョンペイント	アクリル水性	EP	×	—	○	△	○	◎	○	△
	反応硬化形1液水性ウレタン 樹脂塗料	水性ウレタン	—	×	—	○	△	○	◎	○	△
	反応硬化形1液水性アクリル シリコン樹脂塗料	水性シリコン	—	×	—	○	△	○	◎	○	△
塗料 非水 エマル ジョン 系	アクリル非水エマルジョン系塗料	NAD	—	×	—	△	△	△	○	△	△
	ターベン可溶2液ウレタン樹脂 エナメル	—	—	×	—	○	○	○	◎	○	○
溶剤系塗料	アクリル樹脂エナメル	—	AE	×	—	△	○	△	◎	△	○
	塩化ビニル樹脂エナメル	—	VE	×	—	△	○	○	◎	△	○
	2成分形アクリルウレタン塗料	—	②-UE	×	—	○	◎	○	◎	○	◎
	アクリルシリコン樹脂系塗料	—	—	×	—	○	△	○	◎	○	△
	常温乾燥形フッ素樹脂系塗料	—	②-FUE	×	—	○	○	○	◎	○	○
保護材 コンクリート	浸透性 シリコーン系			×	—	○	◎	○	◎	○	◎
	アクリル系			×	—	○	◎	○	◎	○	○
	無機材			×	—	○	△	○	◎	○	△
油性系塗料	油性調合ペイント	乾性油	OP	×	—	×	×	×	×	×	×
	合成樹脂調合ペイント	長油性アルキッド	SOP	×	—	×	×	×	×	×	×
	フタル酸樹脂エナメル	中油性アルキッド	FE	×	—	×	×	×	×	×	×
クリア塗料	アクリルシリコン樹脂系塗料			×	—	○	△	○	◎	○	△
	フッ素樹脂系塗料			×	—	△	△	○	◎	○	△
その他	石材調			×	—	○	◎	○	◎	○	◎

※1/JASS 18およびJASS 23 ※2/ポリウレタン系シーリング材表面に紫外線劣化によるクラック発生。 ※3/ポリサルファイド系シーリング材の上に
 ●変成シリコーン系・ポリサルファイド系・ポリウレタン系シーリング材の上に、油性系、アルキッド樹脂系塗料などの酸化重合型塗料、又は、弱溶剤1液形ウレ
 ●下地調整剤としてセメントフィラー(カチオンフィラー)は塗膜が硬いため動きのある目地で使用すると塗膜のはがれや浮き、割れが発生する恐れがあります
 ●塗装は、施工後3日～7日以内を目安(23℃の場合)として行ってください(シーリング材が十分にゴム弾性を発現していない場合に塗装すると密着不良

材の成分やメーカー及び塗装仕様によってバラツキがありますので、必要に応じて試験を実施しご確認ください。

					1成分形							
アクリルウレタン系		ポリウレタン系		変成シリコン系				アクリルウレタン系		ポリウレタン系		
AUシール		ビューシール6909		MSコーク		SRシールNB50		AUクイック		ウレタンコーク		
付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染	
○	◎	○	◎	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	○	○	◎	○	△	○	○	○	○	○	◎	
○	◎	○	○	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	△	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	
○	◎	○	◎	○	△	○	◎	○	◎	△	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	◎	○	◎	○	◎	
○	○	○	◎	△	△	△	△	○	○	△	◎	
○	◎	○	◎	○	○	△	○	○	◎	△	◎	
△	◎	△	◎	△	○	△	◎	△	◎	△	◎	
○	◎	○	◎	△	○	△	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	△	○	○	○	◎	○	◎	
○	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	
○	◎	○	×※2	○	◎	○	◎	○	×※2	○	×※2	
○	◎	○	×※2	○	◎	○	◎	○	×※2	○	×※2	
○	◎	○	×※2	○	△	○	◎	○	×※2	○	×※2	
○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
○	◎	△	×※2	付着性／○:良好(条件により密着性が低下する場合あり) △:可 ×:不可 汚染性／◎:汚染なし ○:塗料の種類、仕様により汚染の可能性あり(実用上問題なし) △:汚染の可能性あり(バリアープライマーを使用すれば可) ×:汚染あり(バリアープライマーを使用しても不可)								
○	◎	○	×※2									
○	◎	○	◎									

水性塗料や水性シーラーを使用すると、はじきが見られる場合があります。ご使用の際は、事前に塗布性を十分確認してください。
タン樹脂塗料を塗布すると、塗膜の乾燥が極めて遅くなったたり、シーリング材の硬化表面が軟化・溶解したりすることがありますので、使用を避けてください。
ので、シーリング材上の目地調整が必要な場合は塗膜の柔らかい微弾性フィラーを使用してください。
の原因となります。また、塗装までの間隔が長くなると密着性が低下する場合があります。

ボンドシーリング材の
被塗装性

ボンドシーリング材の適材適所

目地の 区分	構法・部位・構成材			2成分形				
				シリコン系	変成シリコン系			
				ビルドシール SR	FRシール	MSシール	MSシール NE	サイディング シール
※6 ワーキングジョイント	カーテンウォール	ガラス・マリオン方式	ガラスまわり目地	◎				
			方立無目ジョイント	◎				
		金属パネル方式	ガラスまわり目地	◎				
			パネル目地	◎	◎	◎	◎	
		PCa板方式	石打込みPCa※1		◎	◎	◎	
			タイル打込みPCa		◎	◎	◎	
	各種外装パネル	ALCパネル(スライド構法)	先吹付塗装PCa	◎				
			ガラスまわり目地	◎				
			ALCパネル間目地		◎	◎	◎	
			窓枠まわり目地		◎	◎	◎	
		フッ素樹脂塗装鋼板・アルミニウム板	塗装あり※2		◎	◎	◎	
			塗装なし		◎	◎	◎	
		塗装鋼板、ほうろう鋼板	窓枠まわり目地		◎	◎	◎	
			塗装あり※2		◎	◎	◎	
		GRC、セメント押出し成形板	窓枠まわり目地		◎	◎	◎	
			塗装なし		◎	◎	◎	
	戸建住宅外壁	窯業系サイディング	板間目地		◎	◎	◎	
			窓枠まわり目地		◎	◎	◎	
		金属系サイディング	塗装あり※2					○
※7 ノンワーキングジョイント	金属製建具	窓枠まわり	塗装なし					◎
			サイディング目地		○	○	○	
		ガラスまわり	サイディング目地	◎				
			水切・皿板目地	◎	○	○	○	
		サッシ工場シール	シーリング材受け					
			金属製笠木					
		石材笠木	シーリング材受け					
			笠木間目地	◎	○	○	○	
		PCa笠木	シーリング材受け					
			笠木間目地	◎	○	○	○	
	コンクリート壁	RC壁、窓枠まわり、壁式PCa	塗装あり※2		○	○	◎	
			塗装なし		◎	◎	◎	
		石張り(湿式)※1 (GPC、石目地を含む)	石目地※3		○	○	○	
			花崗岩石目地					
		タイル張り	大理石石目地					
			窓枠まわり目地		◎	◎	◎	
			タイル目地		◎	◎	◎	
			タイル下地躯体目地		○	○	○	
耐火性が 要求される 目地	外装 パネル	ALCパネル挿入筋構法 塗装あり	窓枠まわり目地		◎	◎	◎	
			ALCパネル間目地		○	○	◎	
			窓枠まわり目地		○	○	◎	
			耐火間仕切り壁の目地		◎			
			貫通スリットの目地		◎			
	防火区画	耐火間仕切り壁の目地	貫通スリットの目地		◎			
			防火ドアまわり		◎			
			通路、階段、エレベーターの目地		◎			
			エレベーター、吹き抜け、階段の目地		◎			
		シート防水などの端末処理	瓦の押さえ(台風被害の防止)					
			金属屋根の折り曲げ部のシール					
			浴室・浴槽(耐温水性必要部)					
			流し台・キッチンキャビネットなどの目地					
			洗面化粧台まわり					
	外壁以外の目地	ポリカーボネート板、アクリル板	窓枠まわり目地		○	○	◎	
			塗装あり※2		○	○	◎	
			塗装なし		○	○	◎	
			バルコニーなどの手すりの支柱脚部まわり・避難ハッチまわり		○	○	◎	
			塗装あり※2		○	○	◎	
			塗装なし		○	○	◎	

※1 石打込みPCa板の石目地(細目地)には「ボンド PSシール」をご使用ください。石目地(細目地)にはプライマーは十分に塗布してください。※2 仕上塗材の種類により、塗膜が乾くまで養生してください。※3 アルコールタイプをご使用ください。※4 防カビ剤入りのものをご使用ください。※5 アルコールタイプをご使用ください。※6 ワーキングジョイントは2面接着です。※7 ノンワーキングジョイントは3面接着です。※8

			1成分形							
	ポリサルファイド系	アクリルウレタン系	ポリウレタン系	シリコーン系	テレケリックポリアクリレート系	変成シリコーン系			アクリルウレタン系	ポリウレタン系
	PSシール	AUシール	ビューシール 6909	シリコンコーク	TAG-1コーク	耐火目地用 シーラント120	MSコーク	SRシール S70	AUクイック	ウレタンコーク
	○									
	○	○								
	○	○								
	○			○	○					
		◎	◎							
		◎	◎							
	○									
	○	◎	○							
	○									
		◎	○					◎※8		○
								◎		
	○			○	○					
	◎									
	○									
	○									
	○	◎	◎				○		○	○
	◎						○			
	◎						○			
	◎						○			
	◎						○			
	◎	◎※10					○			
			◎						○	○
	◎						○			
	○	◎	◎				○			○
	○	◎	◎				○		○	○
						◎				
						○				
						◎				
						◎				
						◎				
				○			◎			
				◎	◎		○			
				◎	◎		○			
				◎※4						
				◎※4						
				◎※4						
				※5						
		◎	◎				○※9		◎※9	◎※9
	○						◎			
		◎	◎				○※9		◎	◎
	○						◎			

ボンドシーリング材の
適材適所

乾燥しなかったり、汚染が発生することがありますので事前検討が必要です。※3 石材目地は染み出し汚染にご注意ください。事前確認が必要です。
※8 「SRシール NB50」をご使用ください。※9 上水道の給水用塩ビ管・継ぎ手には使用しないでください。※10 クリヤ塗装下地に使用可能です。

◎:推奨シーリング材
○:適用可能シーリング材

防耐火構造用シーリング材

弾性シーリング材〈ボンド FRシール〉が 目地からの火炎の貫通を防ぎます。

ボンド FR シールは、変成シリコンを主成分とする耐火構造用弾性シーリング材です。火炎の侵入を防ぐと同時に、加熱裏面側の温度上昇を抑えるように設計されています。また、不定形弾性シーリング材のため、目地の隅々まで充てんでき、遮音性に優れています。弾性シーリング材としても、JIS A 5758「建築用シーリング材」のクラス F-25LM を取得、耐久性区分 9030 にも合格し、シーリング材としての各種性能も高度に保持しています。

耐火性能

+

層間変位対応

+

水密気密

耐火構造用シーリング材
2成分形変成シリコン系

ボンドFRシール



▲ 燃焼中



▲ 耐火試験後の「ボンド FRシール」

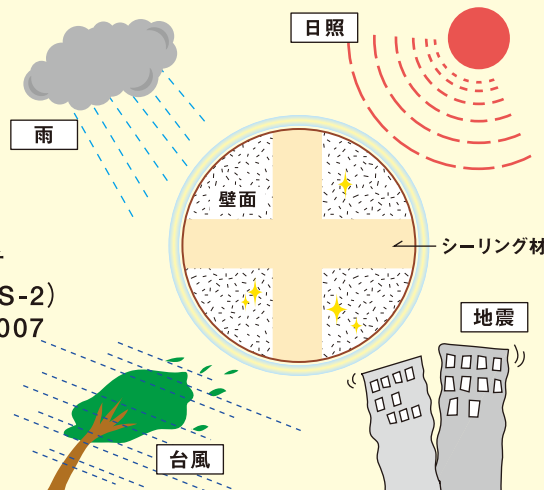
耐火1時間

各種防火・耐火を求められる部位に
使用可能

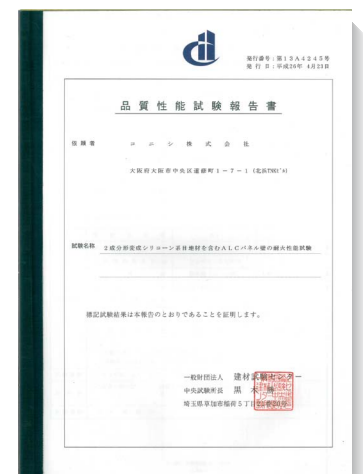


層間変位 対応

JIS CER1
JIS A 5758
建築用シーリング材
F-25LM-9030 (MS-2)
認証番号 CE0508007



建材試験センターによる壁の耐火1時間試験



「ドイツにおける道路トンネルの設備と
運用に関する指針」による耐火試験



非塗装汚染（ノンブリード）型シーリング材

シーリング材上に塗装された仕上塗材や塗料には、場合によってタック、汚染（塗膜の汚れ）、塗膜の剥離などが発生し、美観上問題になることがあります。

これらの現象は、シーリング材と仕上塗材や塗料との組み合わせで発生するため、事前にその適合性について検討することが重要です。「ボンド AU シール」「ボンド MS シール NB」「ボンド ビューシール 6909」は、塗装をかけることを前提に開発されたシーリング材ですので各種複層仕上塗材、薄付け仕上塗材、外壁化粧防水材等のいずれに対してもほとんど汚染を生じません。塗装仕上げを施す目地に最適のシーリング材です。

■ ボンド AUシール



施工前



■ ボンド MSシールNB



施工中



■ ボンドビューシール6909



施工後



土木用シーリング材

土木用シーリング材の用途は、目地の動きが大きく耐疲労性の要求される道路高架橋などの目地、耐久・耐水性が要求される水路・屋外露出の目地、耐背水圧性が要求される地下埋設物の目地の三種類に大別することができます。土木構造物の規模・種類により適材適所の選択を行ってください。

土木用シーリング材の適材適所

主な用途		2成分形					1成分形
		シリコーン系	ポリウレタン系		ポリサルファイド系	エポキシ系	ポリウレタン系
		ビルドシールSR	UPシール グレー	UPシール#700 グレー	PSシール	EMSセグメントシール	UP-1シール
水路用	ブロック・プレキャスト、U・V形溝		◎				○
	現場打		◎				○
		○	◎		○		○
道路・高架橋・準土木用	道路・飛行場		○		○		
	高架橋(エキスパンション・擁壁)	◎	○		○		
	防油堤				◎		
	防水層押さえ		◎				○
	立体駐車場・ガレージ	○	◎		○		○
	床目地・屋上目地		◎	○	○	○	○
地下埋設用	ボックスカルバート		○	◎			○
	防火貯水槽		○	◎			○
	組立式・構築式地下貯蔵庫		○	◎			○
	シールドセグメント			○		◎	

◎:推奨シーリング材
○:適用可能シーリング材

ボックスカルバートの目地設計

背水圧が0.1MPa以上かかるような場合には、目地深さを20～30mmとする必要があり、形状係数(D/W)が1以上となることもあります。しかし、背水圧が0.1MPa以下の場合には、せん断ずれが生ずることを考慮して、ワーキングジョイントと同様の形状係数とします。また、ボックスカルバート用のシーリング材の最大、最少の目地寸法は下表の通りです。また、ボックスカルバートは目地周辺のジャンカやひび割れなどから漏水する恐れがあります。これを防止するために、目地周辺へのシーリング材の帯巻きが有効です。帯巻きの厚さは1～3mm、幅はジャンカなどによって一概にはいえませんが、5～30mm程度は必要です。

●設計目地幅Wの最大・最少

	目地幅(W)mm	目地深さ(D)mm
最大	40	30
最少	15	15



低モジュラスシーリング材を使用した場合の背水圧によるふくれ
(目地形状20×20mm、0.1MPa、4.1mm)



「ボンド UPシール#700」施工物件(共同溝)

超耐候シーリング材

光触媒ガラス対応！ 非汚染タイプ！

ボンドTAG-1[®] (タッグワン) コーク

「ボンド TAG-1(タッグワン)コーク」は、テレケリックポリアクリレートを主成分とした光触媒ガラス用シーリング材です。

従来のシリコン系シーリング材に比べ、シリコン汚染(撥水汚染)が起こらないため光触媒ガラスの自浄作用を損なうことがありません。また、耐候性にも優れるため、長期間ガラスまわりをきれいに保ちます。

■光触媒ガラスへの非汚染性(屋外曝露期間:812日)

ボンド TAG-1(タッグワン)コーク
【撥水汚染なし】



1成分形シリコン系シーリング材
【脱オキシム形、撥水汚染あり】

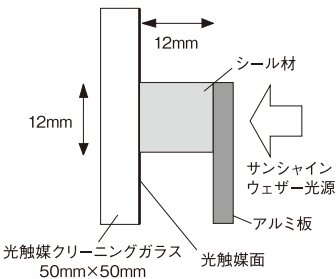


■「ボンド TAG-1(タッグワン)コーク」の光触媒ガラスに対するh型耐光接着性(サンシャインウエザオメーター暴露)

被着体・応力・伸び		暴露時間(hrs)	1000	2000	3000
光触媒ガラス ／ アルマイトアルミ	50%引張応力(N/mm ²)		0.69	0.70	0.82
	最大引張応力(N/mm ²)		0.80	0.81	0.92
	最大荷重時の伸び(%)		68	67	66
	破壊状態(%)		CF100	CF70 TCF30	CF100

被着体:光触媒ガラス、アルマイトアルミ CF:シーリング材の凝集破壊 TCF:シーリング材の薄層凝集破壊
※プライマーなし

h型試験体形状

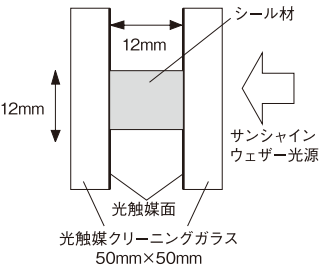


■「ボンド TAG-1(タッグワン)コーク」の各種ガラスに対するH型耐光接着性(サンシャインウエザオメーター暴露)

被着体・応力・伸び		暴露時間(hrs)	1000	2000	3000
光触媒ガラス ／ 光触媒ガラス	50%引張応力(N/mm ²)		0.75	0.75	0.79
	最大引張応力(N/mm ²)		0.77	0.78	0.82
	最大荷重時の伸び(%)		57	59	59
	破壊状態(%)		CF5 TCF95	CF60 TCF40	CF60 TCF40
フロートガラス ／ フロートガラス	50%引張応力(N/mm ²)		0.74	0.70	0.78
	最大引張応力(N/mm ²)		0.80	0.73	0.87
	最大荷重時の伸び(%)		55	58	64
	破壊状態(%)		TCF100	CF20 TCF80	CF70 TCF30

CF:シーリング材の凝集破壊、TCF:シーリング材の薄層凝集破壊
※プライマーなし

H型試験体形状



土木用
超耐候
シーリング
材

ボンドシーリング材の施工手順(2成分形の場合)

1 事前検討

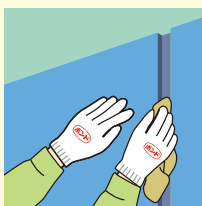
- 目地の納まりの検討(形状・寸法、2次排水処理、施工条件など)を充分に行ってください。
- 材料、プライマーの選定、副資材の選定、施工要領書の作成をしてください。

2 目地の状態の確認

- 所定の目地形状・寸法で段差がないようにしてください。
- 被着面は充分養生期間がとられていて、欠陥(ジャンカ、欠け、亀裂)部分がないことが必要です。
- 被着面は充分乾燥させてください。

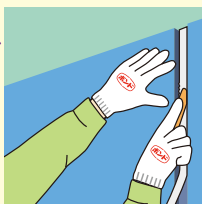
3 目地の清掃

- サビ、油分、ほこり、モルタルくず、塗料など接着を阻害するものを取り除いてください。
- ウェスでから拭きした後、メチルシクロヘキサンなどの溶剤で清掃してください。



4 バックアップ材の装てん

- 下記のバックアップ材の表より、適切なバックアップ材を選定して使用してください。
- バックアップ材を装てんする場合、所定の位置にねじれ・段差・継ぎ目・傷などがないように注意してください。



5 マスキングテープ貼り

- マスキングテープは、その粘着剤が被着材に転着しないものを使用してください。
- 貼り付けは被着面に食い込まないように、かつ目地縁に沿って注意して行ってください。



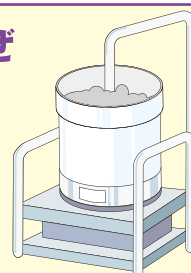
6 プライマーの塗布

- 適合プライマーの品名を確認して使用してください。
- 塗りむら、塗りが残らないようにハケで充分塗布してください。吸い込みの多い場合は2度塗り・または3度塗りを行ってください。
- プライマーの乾燥後は所定時間内にシーリング材を施工してください。



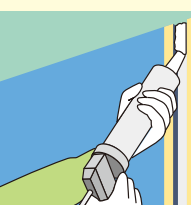
7 シーリング材の練混ぜ

- 混合は、シーリング材専用混合機械で行ってください。
- 基剤・硬化剤・カラーマスターを全量投入し、均一になるまで10分以上混合してください。
- 混合容器の壁、底部および攪拌翼などの部分は未混合になりやすいので、かき落とし後再度練り込んでください。



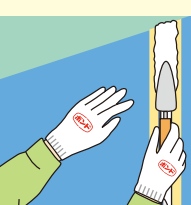
8 シーリング材の充てん

- 混合したシーリング材は、可使時間内にコーキングガンによって目地へ充てんしてください。
- 目地底にコーキングガンのノズルを当て、ゆっくりと充分に充てんしてください。



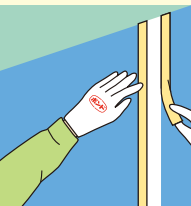
9 ヘラ仕上げ

- シーリング材充てん後はすみやかにヘラ仕上げを行ってください。
- 目地幅にあったヘラで、押さえを充分に行い平滑に仕上げてください。
- ヘラ押さえが不十分であると、硬化後にクレーター等が発生する場合があるのでご注意ください。



10 マスキングテープの除去

- ヘラ仕上げが終わったらすみやかにマスキングテープを除去してください。



11 清掃

12 シーリング材の養生

13 検査

※シーリング工事の資格としては、防水施工技能士(シーリング)、シーリング管理士などがあります。コニシ株式会社は有資格者による施工を推奨致します。

バックアップ材およびボンドブレーカー

シーリング材が目地の動きに自由に追従できるように2面接着とし、またシーリング材の充てん深さ調整のためにバックアップ材を使用します。なお、目地が浅い場合には、ボンドブレーカー(接着防止テープ)を目地底に貼り付けてシーリング材を2面接着とします。代表的なバックアップ材・ボンドブレーカーの例を示します。

バックアップ材

使用箇所	形状・材質	バックアップ材の形状	備考
PCa板、または目地底のない場合	丸型ポリエチレン発泡体	目地幅×1.2~1.3	装てん直後にシーリング材を充てんするとふくれることがありますのでご注意ください。
金属目地、または目地底のある場合	角型ポリエチレン発泡体	のり付き 目地幅より1~2mm小さいもの のり無し 目地幅×1.1~1.2	
ガラスまわり	クロロブレンゴム、EPTゴム、ポリエチレン独立気泡発泡体	目地幅×1.1~1.2	シーリング材に変色などの悪影響を及ぼさないもの。

ボンドブレーカー

使用箇所	シーリング材	材質	形状
目地が浅い場合	シリコーン系 変成シリコーン系 ポリイソブチレン系	ポリエチレンテープ ポリエチレン被覆テープ	目地幅より小さいもの
	ポリサルファイド系 ポリウレタン系 アクリルウレタン系	シリコーン被覆テープ ポリエチレンテープ ポリエチレン被覆テープ	

ボンドシーリング材の施工m数

■ボンド シーリング材1L当たりの概算施工m数

深さ(シール厚)mm \ 目地幅mm	6	10	15	20	25	30	40
6	23.1	13.9					
10		8.3	5.6	4.2			
12			4.6	3.5	2.8		
15				2.8	2.2	1.9	
20					1.7	1.4	1.0
25						1.1	0.8

表はロス20%折り込んだ数量ですので、状況によって増減する場合があります。

■プライマー1缶(500g)当たりの概算施工m数(上段:多孔質面、下段:非多孔質面)

2面接着の場合

深さ(シール厚)mm \ 目地幅mm	6	10	15	20	25	30	40
6	291	291					
10			88 175				
12				73 145			
15					58 117		
20						44 88	
25							35 70

多孔質:200g/m²、非多孔質:100g/m²を標準とする。表はロス30%折り込んだ数量ですので、状況によって増減する場合があります。

ボンドシーリング材の
施工m数

注意事項

▶ 取り扱い上の注意事項

- ①施工温度範囲
施工時の温度に適した製品をご使用ください。
- ②保管方法
保管は、直射日光を避け、乾燥した冷暗所で行ってください。
- ③プライマー処理
プライマーを使用しないと接着しません。プライマーは必ず使用し、ムラなく十分に塗布してください。また、開封後の未使用時は密栓し、使用してください。
- ④湿気などにより硬化性が影響されやすいので、開封後はすみやかに全量を使い切るようにしてください。
- ⑤有効期間内に使用してください。
- ⑥火気厳禁
「ボンドシールプライマー」は可燃性溶剤を使用していますので、火気のあるところでは絶対に使用しないでください。
- ⑦記載の用途(適材適所表・容器)以外には使用しないでください。
- ⑧指定以外の材料と混合しないでください。

▶ 注意

- 火気のある所や静電気の発生するところでは使用しないでください。
- 取り扱い作業場所には局所排気装置を設けてください。
- 取扱中はできるだけ皮フにふれないようにし、必要に応じて保護具を着用してください。
- 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。
- 容器からこぼれた場合は、砂などを散布し、処理してください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 皮フに付着した場合には、すみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落としてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼にはいった場合には、多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 使い切っても火の中に入れてください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 廃棄の際には、産業廃棄物(廃油と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託してください。

※当カタログに記載された製品には、有害性・引火性のある製品があります。より詳細な情報はSDS(またはMSDS)をお読みください。※当カタログのデータは、弊社の試験方法により得られた実測値の一例であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、必ず貴社にて事前テストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。※当カタログの記載内容は、弊社独自の見解であり、一般通例とは異なる場合があります。また製品改良、仕様変更などのため、断りなく変更する場合があります。

注意事項

ボンドシーリング材およびシーリング業界の流れ

年 代	シーリング材関連 ●:ボンド シーリング材 ●:国内シーリング業界	社 歴
1870年(明治3年)		●創業 明治維新前より現本社所在地において 平小西屋の屋号で薬種商を営む
1925年(大正14年)		●株式会社に改組
1952年(昭和27年)		●合成接着剤「ボンド」販売開始
1956年(昭和31年)		●土木建築用「ボンド」販売開始
1958年(昭和33年)	●2成分形ポリサルファイド系シーリング材輸入	
1961年(昭和36年)	●JIS A 5751(建築用コーキング材)制定	
1963年(昭和38年)	●2成分形ポリサルファイド系シーリング材「ボンド シール#10」販売開始	
	●2成分形ポリサルファイド系シーリング材・1成分形シリコン系シーリング材国内生産開始	
1964年(昭和39年)	●1成分形ブチルゴム系シーリング材国内生産開始	
1966年(昭和41年)	●アクリル系国内生産開始。JIS A 5751改正	
1967年(昭和42年)	●1成分形ポリウレタン系シーリング材国内生産開始	
1968年(昭和43年)	●シーリング材各種を整備	
1969年(昭和44年)	●JIS A 5754・JIS A 5755制定	
1970年(昭和45年)	●2成分形ポリウレタン系シーリング材国内生産開始	
1971年(昭和46年)	●2成分系シリコン系シーリング材国内生産開始	
1972年(昭和47年)	●2成分形ポリウレタン系シーリング材「ボンド Uシール」販売開始	
	●JASS 8に「シーリング工事」新規制定	
	●JIS A 5757制定	
1975年(昭和50年)		●コニシ株式会社に社名変更
1976年(昭和51年)		
1978年(昭和53年)	●「ボンド シール#10」JIS取得(JIS A 5754)	
	●2成分形アクリルウレタン系シーリング材・2成分形変成シリコン系シーリング材国内生産開始	
1979年(昭和54年)	●JIS A 5758制定	
1980年(昭和55年)	●「ボンド シール#10」JIS再交付(JIS A 5758)	
	●1成分形変成シリコン系シーリング材国内生産開始	
	●1成分形ポリサルファイド系シーリング材国内生産開始	
1981年(昭和56年)	●JASS 8 改定	
1984年(昭和59年)	●「ボンド Uシール」JIS取得(JIS A 5758)	
	●1成分形変成シリコン系シーリング材「ボンド 変成シリコンコーク」販売開始	
	●2成分形変成シリコン系シーリング材「ボンド MSシール」販売開始	
1985年(昭和60年)	●「ボンド MSシール」「ボンド アクリルコーク」JIS取得(JIS A 5758)	
1986年(昭和61年)	●1成分形変成シリコン系シーリング材「ボンド 変成シリコンコークLM」販売開始	
	●1成分形変成ポリサルファイド系シーリング材国内生産開始	
	●JIS A 5758・JASS 8 改定	
1991年(平成3年)	●アクリルウレタン系シーリング材「ボンド AUシール」販売開始	
1992年(平成4年)	●「ボンド AUシール」JIS取得(JIS A 5758)	
	●「ボンド 耐火目地用シーラント120」販売開始	
	●JIS A 5758改定	
1993年(平成5年)	●「ボンド 変成シリコンコークLM」JIS表示(JIS A 5758)	
	●JASS 8 改定	
1996年(平成8年)	●「ボンド FRシール」販売開始	
1997年(平成9年)	●「ボンド サイディングシール」「ボンド PSシール」販売開始	●品質システム審査登録制度ISO9001を取得
	●JIS A 5758改定	
1998年(平成10年)	●1成分形アクリルウレタン系シーリング材「ボンド AUクイック」販売開始	
1999年(平成11年)	●2成分形シーリング材の容器を「底抜け缶」に変更	
2000年(平成12年)	●「ボンド ビューシール6909」販売開始	
	●JASS 8 改定 技術指針案 制定	
2001年(平成13年)	●2成分形ポリイソブチレン系「ボンドエクシールIB」販売開始	
2004年(平成16年)	●「ボンド Uシール」「ボンド ビューシール6909」脱鉛 1/4 配合品販売開始	
	●JIS A 5758改定	
2005年(平成17年)	●「SRシール S70」販売開始	
2006年(平成18年)	●「ボンド ビューシール6909」基剤アルミパウチ化	
2007年(平成19年)	●「ボンド MSシール」「ボンド FRシール」「ボンド サイディングシール」「ボンド PSシール」「ボンド ビューシール6909」の容器を「テーパー缶」に変更	
2008年(平成20年)	●JASS 8 技術指針 改定	
	●1成分形テケレリックポリアクリレート系「ボンド TAG-1コーク」販売開始	
2009年(平成21年)	●「ボンド サイディングシール」「SRシール S70」JIS認証取得(JIS A 5758)	
2010年(平成22年)	●JIS A 5758改定	
2012年(平成24年)	●2成分形シリコン系「ボンド ビルドシールSR」販売開始	
2014年(平成26年)	●2成分形変成シリコン系「ボンド MSシールNB」販売開始	
		●環境マネジメントシステム審査登録制度ISO14001を取得(滋賀工場)

コニシ株式会社

ホームページ ▶ <http://www.bond.co.jp/>

大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル)
TEL.06(6228)2961
東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア)
TEL.03(5259)5737
名古屋支店／〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-4(坂種栄ビル)
TEL.052(217)8624
福岡支店／〒815-0031 福岡市南区清水3-24-24(日吉ビル)
TEL.092(551)1764
札幌支店／〒060-0908 札幌市東区北八条東3-1-1(宮村ビル)
TEL.011(731)0351

仙台営業所／〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27(ブライムスクエア広瀬通)
TEL.022(211)5031
栃木営業所／〒329-0412 栃木県下野市柴262-9
TEL.0285(43)1511
高崎営業所／〒370-0045 群馬県高崎市東町32-1
TEL.027(324)3002
横浜営業所／〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5(関内スクエアビル)
TEL.045(663)3184
金沢営業所／〒920-0025 金沢市駅西本町3-16-11(エムロード駅西)
TEL.076(223)1565
広島営業所／〒733-0812 広島市西区己斐本町1-9-12(己斐本町ビル)
TEL.082(507)1911
高松営業所／〒760-0080 高松市木太町2796-4
TEL.087(835)2020